

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

平成29年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第14回講義

「私にとっての技術力」 —ある国交省土木技官の経歴から—

国土交通省北海道開発局 事業振興部 都市住宅課 課長
渡邊 政義 氏

渡邊先生からのメッセージ

- ・ 学生の皆さんは、卒業・修了後の進路を、産官学の様々な分野を対象に検討されて、決定済みあるいは準備・就活中のことと思います。そして、どのような進路を選択されるにしても、将来は、その分野・業界を支える中心的な役割を果たされていくものと考えます。
- ・ 講師自身は、北大院修了後、技術系の国家公務員を選び、その後、国道の建設・管理を中心にしながら、これまで様々な仕事を経験する機会に恵まれました。
- ・ 講義では、自らの30年の行政経験を、幾つかのキーワードで振り返るとともに、現職の都市住宅行政の紹介を交えながら、技術系公務員の役割や、求められる能力(技術力とは何か)について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

日時:

2017年7月21日

金曜日

5 講目 16:30-18:00

場所:

工学研究院

オープンホール

[B-201]

渡邊政義先生

昭和62年北海道大学大学院工学研究科修士課程修了。

平成元年北海道開発庁入庁。建設省東北地方建設局郡山国道事務所調査課長、北海道開発庁企画室開発専門官、在フィンランド日本国大使館一等書記官、(独法)土木研究所寒地土木研究所寒地交通チーム上席研究員、国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所所長等を経て、平成29年4月から現職。

担当:工学系教育研究センター 小林 幸徳教授
内線:7163 Mail: ceed-int@eng.hokudai.ac.jp